

2024年度 機親会事業計画(案)

1937年(昭和12年)3月に発足した機親会は、2024年度で88年目となる。今年度も機親会会員の交流拡大、学生支援を行ない、機親会の活性化を図って行きたい。

1 方針

- 1) 機親会会員相互の交流拡大・・・総会の開催及び会員の交流支援
- 2) 機親会情報発信の拡大・・・ホームページ等を利用して機親会の認知度向上
- 3) 学生支援の拡大・・・学部学生及び大学院生への支援

2 活動内容

2-1 機親会会員相互の交流拡大

- 1) 機親会会員相互の交流拡大
  - ・ハイブリッド方式(対面+オンライン)による理事会、理事・評議員会及び総会の開催
  - ・学生会員、会員の相互交流を図る。  
「機親会による学生海外派遣奨学支援」授与対象者による国際会議参加報告会の開催
- 2) 機親会会員への情報発信
  - ・ホームページ等で機親会活動を報告し、機親会のあるべき姿を追求する。
  - ・大学、研究室の近況、会員の動静を広報する。
- 3) 研究室教授との連携
  - ・研究室教授との連携を強化する。共有の課題を見出し、課題に取り組む。
  - ・研究室との懇談会の開催
- 4) 機械系研究室の産学連携支援
  - ・会員所属会社または会員経営会社などと研究室との産学連携(共同研究、委託研究)を図る。

2-2 学部学生及び大学院生への支援

- 1) 機械系研究室の連携支援
  - ・研究室学生を対象に、「機親会による学生海外派遣奨学支援」制度の実施  
理工学部機械工学科、機械システム工学科の学生、および機械工学領域、機械システム工学領域の大学院生の国際会議発表の参加登録補助を行ない、国際的な学術活動の機会拡大、さらには学生の資質向上を図る。
- 2) インターンシップ支援
  - ・現役学生の会社ガイダンスを機親会会員で支援する。校友会学生支援委員会との連携で活動する。
- 3) フレッシュアップキャンプへの支援
  - ・機械系2学科のフレッシュアップキャンプで、新入生に機親会の紹介および入学祝(学業で使用する品物、機親会ロゴ入り)を贈る。在学時から機親会の活動を周知する。
- 4) 機親会学生会他、主に機械系学生が所属する団体への支援
  - ・機械系(機械工学科、機械システム工学科)学生会等の顕著な活動に対して、支援

をする。あわせて東京都市大学機械系学科の魅力を内外に発信する。

5) 機親会賞の授与

- 大学学位授与式で、機械系2学科から推薦される人物・学業優秀な大学院生および学部学生各1名に、機親会賞（賞状および副賞）を授与する。

6) 機械系学科の授業への卒業生講師を派遣

- 機械系学科の授業への特別講師として卒業生を派遣し、エンジニアとしてのアイデンティティの早期確立を助成する。

7) 機械システム工学科卒業生と現役学生の交流会（MESSAGE）支援

- 機械システム工学科卒業生と現役学生の交流会（MESSAGE）の一層の活性化を狙って支援（開催経費の補助）を行う。

\*MESSAGE : **ME**chanical **S**ystem **S**ymposium for all **AGE**

8) 機械系学生に対する「機親会主催企業見学会」の実施

- 在学生に対する学業、キャリア育成をねらった企業見学会を行う。

以上